

科目名「障害者歯科学I」

学年	学期	科目責任者
2	前学期	野本 たかと
科目ナンバリング	C-7-④-I-12	
単位数	1	
学習目標 (GIO)	障害者歯科学は、障害児者に対する歯科医療および地域歯科保健によって体型づけられている。障害者の地域生活支援体制が強化されている現在、地域歯科保健活動に携わる歯科衛生士として、障害児者の歯科医療に関わっていく必要がある。そのために障害者歯科の基本理念、障害に関する十分な医学的基礎知識と歯科診療上における何らかの配慮に必要な社会歯科学的背景の知識を身に付け、障害者地域歯科保健に関与した際の課題を解決してゆくための基本的な能力を修得する。	
担当教員	野本たかと、伊藤政之、三田村佐智代、田中陽子、矢口学、菱沼光恵	
教科書	「最新歯科衛生士教本 障害者歯科」全国歯科衛生士教育協議会監修（医歯薬出版）	
参考図書	歯科衛生士のための 障害者歯科 第3版 緒方克也 監修（医歯薬出版） スペシャルニーズデンティストリー障害者歯科 日本障害者歯科学会 編（医歯薬出版）	
評価方法 (EV)	平常試験と定期試験を最終評価とする。平常試験、定期試験ともに各講義担当教員が出題し、配点の比重は各講義担当の講義回数に比例する。最終評価が60点に達しない場合には、全範囲における再試験を行う。	
学生への メッセージ オフィスアワー	何らかの配慮が必要な人々はこの歯科医療機関でも治療を受ける権利があります。全ての人々が永く住み慣れた地域での生活を営むことを推奨している現在、すべての歯科衛生士が障害児者の口腔の健康増進を支援する義務があります。講義を介して地域歯科医療における歯科衛生士の役割を十分に認識することを念頭に受講してください。 オフィスアワー：月曜日～金曜日 8：30～17：30 質問があれば研究室に来てください。	

日付	授業項目	授業内容	担当教員
第1回 4/3	障害の概念と理解	臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 障害の概念と基本的人権の意義について理解する 【行動目標 (SBOs)】 1. 障害の概念、ICF、ICDについて説明できる 2. 障害者に関する法律および社会保障について説明できる 【準備学習項目・時間】 予習時間：60分、予習内容：日本国憲法と人権 復習時間：60分、復習内容：障害の概念と社会保障 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義介して、障害の概念と社会保障について学ぶ	★野本たかと

<p>第2回 4/10</p>	<p>障害者の尊厳と生活支援</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。  <b>【授業の一般目標】</b>          障害者の社会的環境と人間の尊厳を理解し、生活支援の在り方についての知識を習得する  <b>【行動目標 (SBOs)】</b>          1. 障害者の実態および社会的環境について説明できる          2. 人間の尊厳とノーマライゼーションについて説明できる  <b>【準備学習項目・時間】</b>          予習時間：60分、予習内容：障害の概念と          復習時間：60分、復習内容：障害者の尊厳とノーマライゼーション  <b>【アクティブラーニングの有無】</b>          無  <b>【学習方略 (LS)】</b>          講義を介して、障害者の尊厳と生活支援の在り方を学ぶ</p>	<p>★伊藤政之</p>
<p>第3回 4/17</p>	<p>障害の発生・原因と受容</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。  <b>【授業の一般目標】</b>          障害の発生要因と受容について理解する  <b>【行動目標 (SBOs)】</b>          1. ライフサイクルと障害の発生要因について説明できる          2. 障害の受容について説明できる  <b>【準備学習項目・時間】</b>          予習時間：60分、予習内容：障害者の尊厳          復習時間：60分、復習内容：障害受容  <b>【アクティブラーニングの有無】</b>          無  <b>【学習方略 (LS)】</b>          講義を介して障害の発生及び受容について学ぶ</p>	<p>★田中陽子</p>
<p>第4回 4/24</p>	<p>障害者への歯科的支援</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。  <b>【授業の一般目標】</b>          障害者への歯科診療に必要な情報と基本的対応法について理解する  <b>【行動目標 (SBOs)】</b>          1. 障害者への歯科医療の成り立ちと歴史について説明できる          2. 歯科診療に必要な情報収集について説明できる          3. 多職種連携、診診連携など障害者歯科医療体制について説明できる  <b>【準備学習項目・時間】</b>          予習時間：60分、予習内容：障害者の尊厳          復習時間：60分、復習内容：情報収集ならびに医療体制  <b>【アクティブラーニングの有無】</b>          無  <b>【学習方略 (LS)】</b>          講義を介して、情報収集方法と障害者歯科医療体制を学ぶ</p>	<p>★伊藤政之</p>
<p>第5回 5/8</p>	<p>外表奇形と障害</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。  <b>【授業の一般目標】</b>          障害者に多い外表奇形の発生要因と症状について理解する  <b>【行動目標 (SBOs)】</b>          1. 先天異常・奇形について説明できる          2. 顔面領域に表出する外表奇形について説明できる  <b>【準備学習項目・時間】</b>          予習時間：60分、予習内容：障害の発生要因          復習時間：60分、復習内容：顔面領域に表出する外表奇形  <b>【アクティブラーニングの有無】</b>          無  <b>【学習方略 (LS)】</b>          講義を介して奇形・異常、顔面領域における外表奇形を学ぶ</p>	<p>★野本たかと</p>

<p>第6回 5/15</p>	<p>平常試験1および 解説講義</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。  <b>【授業の一般目標】</b>  平常試験1での講義内容の知識が習得できているか確認することで自己評価ができる  <b>【行動目標 (SBOs)】</b>  1. 障害の概念  2. 障害者の尊厳と生活支援  3. 障害の発生と受容  4. 外表奇形と障害  <b>【準備学習項目・時間】</b>  予習時間：200分， 予習内容：1回から5回までの講義内容  復習時間：60分， 復習内容：自己評価および再習得  <b>【アクティブラーニングの有無】</b>  無  <b>【学習方略 (LS)】</b>  平常試験および解説講義を介して自己評価ならびに再習得</p>	<p>★野本たかと ★伊藤政之 ★田中陽子</p>
<p>第7回 5/22</p>	<p>脳疾患・てんかん</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。  <b>【授業の一般目標】</b>  障害児者に合併しやすい脳・神経疾患についての基礎的知識と歯科診療上の配慮を理解する  <b>【行動目標 (SBOs)】</b>  1. 先天奇形による脳疾患および歯科診療上の配慮を説明できる  2. てんかんおよび歯科診療上の配慮を説明できる  <b>【準備学習項目・時間】</b>  予習時間：60分， 予習内容：障害の発生  復習時間：60分， 復習内容：脳神経疾患の基本的事項と歯科診療上の配慮  <b>【アクティブラーニングの有無】</b>  無  <b>【学習方略 (LS)】</b>  講義を介して脳神経疾患およびその歯科診療上の配慮を学ぶ</p>	<p>★菱沼光恵 (野本たかと)</p>
<p>第8回 5/29</p>	<p>内科的疾患</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。  <b>【授業の一般目標】</b>  障害児者に多くみられる合併症の内部疾患とその歯科診療上の配慮について理解する  <b>【行動目標 (SBOs)】</b>  1. 先天性の代謝疾患と歯科診療上の注意事項を説明できる  2. 先天性の循環器疾患と歯科診療上の注意事項を説明できる  <b>【準備学習項目・時間】</b>  予習時間：60分， 予習内容：障害の発生  復習時間：60分， 復習内容：先天性内部疾患と歯科診療上に必要な配慮  <b>【アクティブラーニングの有無】</b>  無  <b>【学習方略 (LS)】</b>  講義を介して，先天性内部疾患と歯科診療上の配慮を学ぶ</p>	<p>★矢口学 (野本たかと)</p>

<p>第9回 6/5</p>	<p>感覚器および音声言語の障害と歯科治療</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。  <b>【授業の一般目標】</b>          感覚器障害および歯科治療の重要性と注意事項を理解する  <b>【行動目標 (SBOs)】</b>          1. 視覚障害および聴覚障害および歯科診療上の配慮について説明できる。          2. 音声言語障害とその歯科診療上の配慮について説明できる          予習時間：60分，予習内容：障害の発生          復習時間：60分，復習内容：感覚器障害と歯科診療上の配慮について  <b>【アクティブラーニングの有無】</b>          無  <b>【学習方略 (LS)】</b>          講義を介して，感覚器障害と歯科診療上の配慮を学ぶ</p>	<p>★三田村佐智代</p>
<p>第10回 6/12</p>	<p>身体障害と歯科医療</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。  <b>【授業の一般目標】</b>          身体障害と歯科診療上の配慮について理解する  <b>【行動目標 (SBOs)】</b>          1. 身体障害（脳性麻痺・筋ジストロフィー・二分脊椎など）について説明できる          2. 1の疾患についての歯科診療上の配慮について説明できる  <b>【準備学習項目・時間】</b>          予習時間：60分，予習内容：身体障害者基本法          復習時間：60分，復習内容：身体障害と歯科診療上の配慮  <b>【アクティブラーニングの有無】</b>          無  <b>【学習方略 (LS)】</b>          講義を介して，身体障害と歯科診療上の配慮を学ぶ</p>	<p>★矢口学 (野本たかと)</p>
<p>第11回 6/19</p>	<p>知的能力障害と歯科医療</p>	<p><b>【授業の一般目標】</b>          知的能力障害への適切な歯科医療提供に必要な基礎的知識を修得する  <b>【行動目標 (SBOs)】</b>          1. 知的能力障害について説明できる          2. 知的能力障害の歯科診療上の配慮について説明できる  <b>【準備学習項目・時間】</b>          予習時間：60分，予習内容：障害者基本法          復習時間：60分，復習内容：知的能力障害と歯科診療上の配慮  <b>【アクティブラーニングの有無】</b>          無  <b>【学習方略 (LS)】</b>          講義を介して，知的能力障害と歯科診療上の配慮を学ぶ</p>	<p>★菱沼光恵 (野本たかと)</p>
<p>第12回 6/26</p>	<p>発達障害と歯科医療 その1 基本的事項</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。  <b>【授業の一般目標】</b>          発達障害者への適切な歯科医療提供のために必要な基礎的知識を修得する  <b>【行動目標 (SBOs)】</b>          1. 発達障害について説明できる。          2. 発達障害の置かれた環境と生活支援について説明できる  <b>【準備学習項目・時間】</b>          予習時間：60分，予習内容：発達障害者支援法          復習時間：60分，復習内容：発達障害者の社会的環境と生活支援  <b>【アクティブラーニングの有無】</b>          無  <b>【学習方略 (LS)】</b>          講義を介して発達障害者とは何か，社会的環境と生活支援について学ぶ</p>	<p>★伊藤政之</p>

<p>第13回 7/3</p>	<p>発達障害と歯科医療 その2 口腔の特徴と歯科治療における注意事項</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 発達障害者の歯科診療上の配慮について理解する 【行動目標 (SBOs)】 臨床経験に基づき以下の内容について教授する 1. 発達障害者の口腔内環境について説明できる 2. 発達障害児者の歯科診療上の配慮について説明できる 【準備学習項目・時間】 予習時間：60分，予習内容：発達障害者の基本的知識 復習時間：60分，復習内容：社会環境と歯科診療上の配慮 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義を介して，発達障害者の歯科診療上の配慮を学ぶ</p>	<p>★伊藤政之</p>
<p>第14回 7/10</p>	<p>重症心身障害・医療的ケアと歯科医療</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 増加する重症心身障害児者ならびに医療的ケア児についての基本的知識と歯科診療上の配慮について理解する 【行動目標 (SBOs)】 1. 重症心身障害児者と医療的ケア児者について説明できる 2. 1における歯科診療上の配慮について説明できる 【準備学習項目・時間】 予習時間：60分，予習内容：障害の発生 復習時間：60分，復習内容：重症心身と医療的ケアとその歯科診療上の配慮 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義を介して，重心，医療的ケアへの歯科診療上の配慮を学ぶ</p>	<p>★田中陽子</p>
<p>第15回 7/17</p>	<p>障害者と薬剤</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 障害児者の服用している薬剤を知り，歯科診療上必要な配慮について理解する 【行動目標 (SBOs)】 1. 障害児者の服用薬と疾患の関係性について説明できる 2. 薬剤服用と口腔疾患，歯科診療上の配慮を説明できる 【準備学習項目・時間】 予習時間：60分，予習内容：薬物代謝 復習時間：60分，復習内容：障害者の服用薬剤と口腔疾患の関係性ならびに歯科診療上の配慮 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義を介して，障害者の服用薬剤と口腔疾患の関係性ならびに歯科診療上の配慮を学ぶ</p>	<p>★田中陽子</p>